

2 社会参加・社会貢献の場が充実した社会 (1) 生涯学習・生涯スポーツの振興

1 現 状

◎生涯学習

平成27年「教育・生涯学習に関する世論調査」(内閣府)では、65歳以上の回答者のうち約47%が「この1年くらいの中に、生涯学習をしたことがある」と回答しています。また、そのうちの6割以上が、生涯学習を行って「自分の人生がより豊かになっている」と感じています。

生涯を通して学び続けることは、知識を増やし趣味や興味の幅を広げ、豊かな人生を過ごすことにつながります。また、学習の機会を通じて共通の趣味を持つ仲間をつくったり、学習の成果を地域に還元することで生きがいを持って毎日を送ることも可能となります。

学習意欲のある人が少しでも多くの学習機会を持てるような環境をつくり、多くの元気高齢者に充実した毎日を送っていただくことは、健康維持対策、生きがい対策などさまざまな面での効果が期待できます。

◎文化活動

地域コミュニティ機能が低下し、文化の担い手不足が指摘される中、民俗芸能や祭り、伝統行事等の伝統文化は継承の危機にあります。このような状況において、豊富な知識と経験を有している高齢者は、文化の伝承者として期待されています。

また、芸術文化活動で知識や技術を身につけ、さらに高いレベル、深い境地を目指すことは人生を豊かにし、生きがいづくりや仲間づくりにつながります。

平成29年度に県が実施した「県政県民意識アンケート」では、社会貢献活動を行っているとは回答した60歳以上の人のうち、約8%が「地域の伝統芸能やお祭りなどの文化に関する活動」を行っているとは回答しています。

◎生涯スポーツ

高齢者数の増加に伴い、年々要介護認定を受けている人の数も増加していますが、いつまでも元気に活躍し続けるためには、自ら健康づくりを心掛け、日常生活において適度な運動の機会をできるだけ増やすことが必要です。

「平成28年度国民生活基礎調査」では、65歳以上の回答者のうち、日ごろ健康のために実行している事柄があると回答した人は、全体で約91%であり、関心の高さがうかがえます。

また、平成27年「教育・生涯学習に関する世論調査」（内閣府）で「この1年くらいの中に、生涯学習をしたことがある」と回答した約47%の人のうち、3割ほどの人がスポーツ分野の活動をしていると回答しました。

県では、高齢者や障害者等がそれぞれのライフステージに応じてスポーツを楽しむ場として、「ふれあいスポーツプラザ」や「ゆうあいピック記念温水プール」を指定管理により運営していますが、利用者のうち半数近くは高齢者であり、楽しみながら健康づくりに取り組んでいます。

■ふれあいスポーツプラザ■

ふれあいスポーツプラザは、スポーツ・レクリエーション施設として、平成3年に開設しました。高齢者等に適した各種スポーツの普及や競技会を開催するなど、高齢者等が気軽にスポーツに親しむ機会を提供しています。

高齢者等がスポーツを通じて、地域社会の人たちと相互にふれあい、また、憩いの場となるよう積極的な施設運営に取り組んでいます。

2 課 題

◎生涯学習

生涯学習において得た知識を地域や周囲の人へ伝えることで新たな学習意欲が湧き、自分自身のよろこびにもつながります。多くの人に学ぶことの楽しさを実感してもらうためには、学習の成果を適切に評価することと、学習を通じて培われた知識や技能を社会で有効に活用できることが求められています。

また、個人の趣味や活動の範囲が多様化している現在では、学習メニューも幅広いものが求められるようになっていきます。すでに生涯学習に取り組んでいる人はもちろん、今後取り組みたいという意向を持っている人に対しても、さまざまなニーズに応じた利用しやすいサービスや学習情報を効率的、効果的に提供することが重要です。

◎文化活動

地域の中で受け継がれてきた伝統芸能の知識や技術を習得し、次の世代に伝えることは、伝承だけの意味にとどまらず、世代間交流を生み、地域の絆を深め、地域コミュニティの活性化につながるものであることから、地域の実情に合ったきめ細かい支援が必要です。

芸術文化活動においては、仲間と共に練習や稽古に励むことや、優れた芸術文化を鑑賞することが大切です。誰もがいつでも、気軽に文化活動に取り組めるよう、活動の場や情報の提供に加え、優れた芸術文化に接する機会を提供することが必要です。

◎生涯スポーツ

自主的に健康づくりに取り組んでいる人がいる一方で、「仕事や自分の身の周りのことで忙しい」や「健康上の理由」などによりスポーツ活動から遠ざかってしまう人もおり、運動をする人とならない人の二極化が進んでいると言えます。スポーツになじみのない人に対しては、無理せずできる範囲で気軽に取り組んでもらえるよう、年齢や体力に応じた健康づくりをサポートするための施策が必要です。

3 今後の取組

◎生涯学習

県では、生涯学習の推進のため、多様な学習機会を提供するとともに、インターネット等を活用し、生涯学習に関する情報発信を行い、高齢者等の生涯学習への取組を支援します。

また、あらゆる世代の方に多様な学習機会を提供し、学んだ成果を単位認定するなどにより評価するぐんま県民カレッジを運営し、自らの学習の足跡を記し振り返ることや、今後の新たな学習への挑戦を支援します。

以前、県の事業として実施していた「高齢者大学」、「長寿学園」のような高齢者だけを対象とした学習の場の提供は、主に、より住民に身近な市町村が中心となり実施しています。

◎文化活動

県では平成23年度に群馬県文化基本条例（平成24年4月1日施行）を制定し、高齢者を「豊富な知識と経験を有する文化の重要な支え手」として位置付けました。条例に基づき、高齢者が行う文化活動の充実と、高齢者が文化活動において活躍できるような環境の整備等を推進します。

◎生涯スポーツ

インターネット等を活用しての「ふれあいスポーツプラザ」や「ゆうあいピック記念温水プール」の広報や、施設の利便性の向上を図るとともに、スポーツ教室やイベント等を開催し、高齢者が気軽にスポーツ活動に参加できる機会を提供します。

また、公益財団法人群馬県スポーツ協会では、スポーツ指導者の養成などを行い、生涯スポーツの振興を促進します。

さらに、地域住民が自主的に運営し、あらゆる人が参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の活動等を支援し、多世代・多種目でスポーツに参加できる環境の整備に取り組みます。

コラム ～総合型地域スポーツクラブ～

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、

- (1) 子どもから高齢者まで（多世代）、
- (2) さまざまなスポーツを愛好する人々が（多種目）、
- (3) 初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、

という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

全国では、平成29年7月1日現在で、創設準備中クラブを含めて、3,580クラブが1,409の市区町村において育成されています。

4 主な施策

◆生涯学習

◎出前なんでも講座：広報課

町内会などの集まりに県職員が出向き、県の事業や施策などの情報を分かりやすく説明する講座を開催します。講座内容は、県政に関するメニューと職員の特技を披露するメニューがあります。

◎まなびねっとぐんま企画運営：生涯学習課

インターネットを利用し、生涯学習に取り組もうと思ったときに、誰でも、いつでも、どこでも必要な情報が容易に入手することができるよう、群馬県生涯学習情報提供システム「まなびねっとぐんま」を運営します。(県生涯学習センター)

◎ぐんま県民カレッジ：生涯学習課

県生涯学習センターが事務局となって、県や市町村・高校・大学・専修学校・放送大学等の各種教育機関、博物館等施設及びカルチャーセンターとの連携のもと、あらゆる世代の方にさまざまな学習機会を体系的、総合的、広域的に提供します。

講座等を受講した場合、単位が認定され、単位の蓄積により奨励賞が授与されます。

◆文化活動

◎伝統文化継承事業：文化振興課

地域の絆により、古くから県内各地で伝えられ、守られてきた地域の伝統文化を継承していくための活動を応援します。

◎東国文化周知事業：文化振興課

古代東国文化の中心地であり、東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産について周知を進め、再認識を促すとともに、観光振興やイメージアップ等での活用を図ります。

◎県民芸術祭（県展等）：文化振興課

県民の文化における創造的活動を助長し、地域の特色ある多様な文化芸術を充実・発展させるとともに、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供します。

◎県立博物館・美術館教育普及事業：文化振興課

県民の美術に関する知識を深め感性を豊かにする機会、身近な自然や環境問題についての関心を高める機会、及び県民の歴史や文学に対する学習ニーズを満たす機会など、県民の文化的資質を充実させるための機会を提供します。

◆生涯スポーツ

◎ふれあいスポーツプラザ運営委託、ゆうあいピック記念温水プール運営委託

：障害政策課

障害者及び高齢者のスポーツ及びレクリエーション活動の振興、社会参加の促進を図ることを目的として設置された県立ふれあいスポーツプラザ（伊勢崎市）及び県立ゆうあいピック記念温水プール（渋川市）を運営します。（指定管理）

◎高齢者・障害者県有スポーツ施設使用料（利用料）減免

：（公財）群馬県スポーツ協会、スポーツ振興課

高齢者・障害者の社会参加を促進するため、65歳以上の高齢者・障害者に対し、県総合スポーツセンター（伊香保リンクを含む）の施設使用料（利用料）の2分の1を減免します。

◎群馬県レクリエーション協会活動支援：（公財）群馬県スポーツ協会、スポーツ振興課

生涯スポーツの振興促進のため、県レクリエーション協会の活動を支援します。

（再掲） → 1（2）健康づくり・介護予防

◎生涯スポーツ巡回指導：（公財）群馬県スポーツ協会

高齢者・障害者を含めた生涯スポーツの振興を促進するため、市町村や各種団体からの依頼を受け、高齢者体操やダンベル体操、軽スポーツ等の指導者を紹介します。

◎健康スポーツ指導者バンク運営：（公財）群馬県スポーツ協会

高齢者・障害者を含めた生涯スポーツの振興を促進するため、県スポーツ協会で養成した健康スポーツ指導者バンク登録者が、市町村や各種団体からの依頼を受け、高齢者体操やダンベル体操、軽スポーツ等の指導を行います。

【目 標】

●ぐんま県民カレッジの入学者数

平成30年度 7,000人 → 平成36年度（2024年度） 7,000人

●ぐんま県民カレッジの連携機関数

平成30年度 600機関 → 平成36年度（2024年度） 600機関